

2024年11月
文書番号51-検-006

気温低下による血清カリウム値の高値傾向について

謹啓 秋寒の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

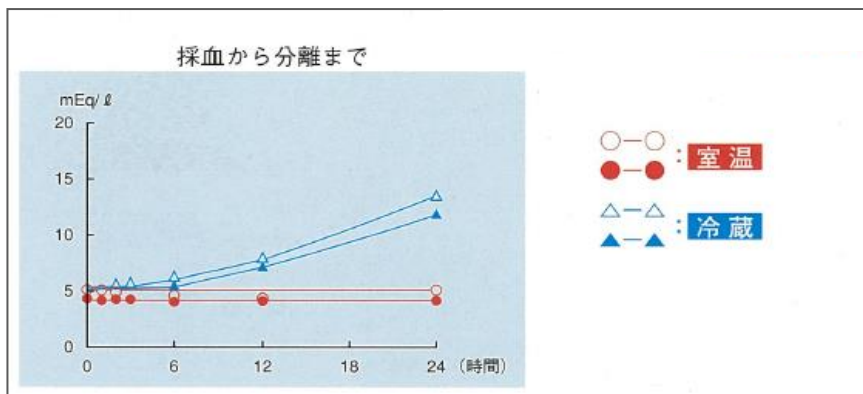
さて、気温の低下に伴いこの時期になりますとカリウムのデータに関するお問い合わせを頂戴いたします。特に全血を用いたカリウム値は、温度の影響を受けやすい項目であり、検体の搬送時及び御施設様での保存条件によっては影響を受けることが考えられます。つきましては全血で採取された検体を至適温度で保管していただきたくお願い申し上げます。

弊社といたしましても検体搬送時の温度管理については細心の注意を払っておりますが、影響を受ける可能性を否定できないためデータの取り扱いにはご注意ください。

謹白

1. 全血状態での長時間冷蔵保存

高値の原因となる可能性があります。冬場は気温・室温ともに低下しますのでカリウムが高値となる場合があります。



参考文献：株式会社エスアールエル 検査値の経時的変動

2. 溶血による影響

カリウム以外にもLD・AST・血清鉄が高値となります。

3. その他

駆血帯の締め方、採血時間、クレンジングによりカリウムが高値となる場合があります。